

事故・ケガ報告

令和2年4月1日～令和3年3月31日

種類	件数	%
自傷	1	12.5%
他害	3	37.5%
転倒	1	12.5%
誤飲	0	0.0%
その他	3	37.5%
	8	100.0%

生活介護

事故・ケガ報告詳細

日にち	種類	内容	対応と結果
R2年4月			
4月6日	他害	テレビカバーを叩く等の行為があり、本人を職員が2名体制で対応していた。横になり少しぐったりしている様子だった為、本人と他利用者の間にいた職員が、注目させる用のボールを取りに行ったところ、突然起き上がり他利用者の髪を引っ張ってしまう。	<ul style="list-style-type: none"> ・右こめかみ部に赤みあり→アイシング実施。 ・保護者へ謝罪 ・落ち着いている時であっても、本人と他利用者との距離を確保する。 ・叩く、髪を引っ張る等の行為があっても過剰に反応しない
4月21日	その他	トイレから帰ってきた後、ソファ一辺りに座る。その後、右足を見ると指から出血があり本人からも「痛い」との訴えあり。周りを見ると床に出血の跡が点々とある。トイレ内を見るも出血無く、入口ドアの下の角辺りに少し出血跡が見つかる。消毒をして出血の場所を確認。絆創膏を貼り経過観察を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・出血箇所を消毒し、絆創膏を貼る。 ・痛みの訴えがあるものの、歩行には問題なく、様子を見る ・保護者に事故を説明し、謝罪。 <p>ドアをきちんと開けたうえで通るようにする</p>
R2年7月			
7月13日	他害	ソファに座っている本人に、他利用者が近づき手を引っ掻いてしまう。	<ul style="list-style-type: none"> ・傷が付いたのを確認しアイシング。絆創膏を貼る。 ・本人と他利用者の間に必ず職員が入り、接触しないよう支援を行う。
7月13日	自傷	トイレ対応中、リハパンの交換をしていると、本人が自分の右の臀部を掻いていた。見ると、引っかき傷が付き、出血もしていた。	<ul style="list-style-type: none"> ・止血をしてからルームに戻る。洗浄綿で傷口を拭き、ガーゼで保護した。 ・保護者に説明及び謝罪を行う <p>身体を掻く様子があった時はすぐに止め、タオル等で身体を拭くようにする。</p>
7月23日	転倒	ルーム歩行時、支援員が横に付き左腕を支えながら歩いていた。前のめり気味に歩く様子が多く、窓の落下防止柵付近で右側に転倒。支援員も支えきれず一緒に転倒してしまう。本人は転倒時、身体の右側を防止柵にぶつける。	<ul style="list-style-type: none"> ・右肘に赤み、擦り傷あり→アイシングの実施 ・その後の歩行に異常見られず ・支援員は本人の前に立ち、両手で引くかたちでの歩行を行う。 ・窓の落下防止柵に緩衝材を設置 ・歩行時の介助方法の指導
R2年11月			
11月16日	その他	外での散歩中、歩行介助をしていた支援員が本人の顎から出血しているのを確認。可能性として、横断歩道の信号待ちをしている際に近くの柵に両手をついて待っていてもらった際に出来たものと考えられる。又、枝を掴んで離れた際に枝が顎を擦ったときに傷が付いたものと考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> ・本人をバギーに乗車させ傷口を確認。絆創膏を貼る。 ・約1時間後、出血は少なかったが、浸出液が多く出していた為、ガーゼで傷口を保護。 ・保護者へ謝罪 ・散歩ルートの変更 ・立ち止まった時、座り込んだ時に怪我がないか身体確認
R2年12月			
12月8日	他害	支援員が流し場に行くと、本人が扉の前で待っていた。ソファで横になっていた他利用者が扉を閉めた。すると扉の前にいた本人の顔（右頬骨付近）に閉めた扉が当たった。	<ul style="list-style-type: none"> ・本人に痛みの確認→「痛くない、痒い」と言う ・患部確認→赤み、腫れ等見られず。 ・患部をアイシング→アイシング後も患部異常なし <p>扉の可動域を可視化する</p>
12月29日	その他	サチAルート送迎中、須戸橋右折の為に方向指示器をだし、2～3秒停車していたところ、後ろから軽自動車に追突された。	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の運転手確認 ・支援員から統括に報告 ・利用者の状態確認（4名共外傷なし） ・統括から社長へ事故の報告 ・救急車要請 ・統括から管理者へ応援要請 ・各保護者へ連絡 ・救急隊員による外傷確認、バイタルチェック ・保護者を呼び、救急隊員による状況説明 <p>送迎ルートの変更</p>